

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 神崎達朗 幹 事 小清水正義 会報委員長 安部信三



Reach Within to Embrace Humanity
心の中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年～2012年度国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

第1253回例会 2011年10月6日(木)(曇)

司 会 瀬戸 誠副幹事

点 鐘 神崎達朗会長

合 唱 「君が代」「奉仕の理想」(三留文雄君)

唱 和 「ロータリーの綱領」(大屋富茂君)

ビジター紹介 奥津光弘君(秦野中) 山口 宏君 栗原和子さん(秦野)

祝結婚記念日 相原君・三留君(10/1) 米山君(10/3) 柳川君・加藤君(10/7) 山口(光)君(10/8) 北村(俊)君(10/10)

祝誕生記念日 <会員>石尾君(9/26) 関野君(10/10)

祝創業記念日 多田君・米山君(10/1)

会長報告

○ ガバナー事務所より

① 国際奉仕事業参加のお願い

韓国第3650地区から、国際奉仕事業の依頼が来ております。両国の共同プロジェクトをご検討ください。

② 職業奉仕委員会(各クラブ)の活動計画目標について(回覧)

③ インターアクト年次大会登録のお願い

テーマ 「世界を明るく～さしのべよう心の手」

日時 11/12(土) 10:30～11:30 受付

場所 神奈川工科大学

登録料 お一人3,000円

④ 地区ローターアクト 第一回地区環境活動の案内

「高尾山の植物を観察してみよう」

日時 10/23(月) 11:00 集合

京王線「高尾山口」駅改札口

⑤ RI2780地区ローターアクト第23回地区年次大会の案内

日時 11/5(土) 9:30 登録開始

場所 鎌倉商工会議所地下ホール

登録料 3,500円

○ 10/27(木)、ガバナー公式訪問です。それに伴い10/13(木)、佐野第7Gガバナー補佐による「公式訪問に向けて」のクラブ協議会を例会終了後開催いたします。各委員長は活動計画書に沿って報告をして頂きますので、出席を宜しくお願い致します。

幹事報告

[週報受理] 茅ヶ崎 寒川 川崎

[受付文書]

○ 薬物乱用防止キャンペーン打ち合わせ開催について(担当クラブ: 秦野中RC)

日時 10/13(木) 18:30～

場所 (有)一の屋

[例会変更] 平塚南

○ 本日、例会終了後、理事会を開催いたします。

会員数	40名
出席数	31名
出席率	79.49%
前々回の修正	71.79%

事後	米山君(秦野)
メイクアップ	

本日のプログラム	10月13日(木) ○ クラブフォーラム 公式訪問に向けて ～佐野英之ガバナー補佐
----------	--

次週のプログラム	10月20日(木)→15(土)・16(日) ○ 地区大会
----------	---------------------------------

スマイル報告

- 奥津光弘君(秦野中) 「本日はお邪魔させていただきます。風邪気味ですので早退悪しからずお願い申し上げます。今後とも宜しくお願い致します」
- 山口 宏君(秦野) 「本日は宜しくお願い致します」
- 栗原和子さん(秦野) 「宜しくお願いします」
- 神崎達朗君 「東島さん、急な卓話のお願い、ありがとうございました」
- 小清水正義君 「スマイルします」
- 諸星常平君 「10月ですね。一番さわやかな季節ですね。ふところもさわやかです」
- 桐山晃忠君 「10月2日に息子の結婚式を無事に締める事が出来ました。今“ホット”しています」
- 瀬戸 誠君 「東島さん、卓話ですね。頑張ってください」
- 三留文雄君 ①「義父の葬儀にはクラブの皆様よりご厚情を頂き、ありがとうございました」 ②「義父が亡くなり、私たちの結婚記念日と忘れられない10/1になりました。お祝いありがとうございました」
- 柳川清紀君 「結婚記念のお祝いをして頂き、ありがとうございます」
- 山口光弘君 「結婚記念のお祝いありがとうございます」
- 加藤一也君 「結婚記念日、ありがとうございます。もう28年たちました。女房には直接言わないけど“今までありがとう!”」
- 石尾恵一君 「とうとう63歳になりました。メイドが近くなってきました。どうしよう」
- 米山君夫君 「会社創業記念日と結婚記念のお祝いを頂きまして、誠にありがとうございます」
- 北村俊和君 「結婚祝いありがとうございます。今年で20年になります。スマイルします」
- 多田嘉之君 「創業記念のお祝いありがとうございます」
- 高橋修平君 「スマイルします。決算の結果がよかったので!」
- 河野治男君 「スマイルします」
- 古谷スミ子さん 「東島さんの卓話を楽しみにしています」
- 諸星道治君 「スマイルします」
- 梅原正美君 「金木犀の花の香りが際立つ頃となりました。本年度もすでに3カ月以上が過ぎ、今月こそ国際奉仕に頑張っていきたいと思いスマイルします」
- 岩本英貴君 「スマイルします」
- 前 肇君 「スマイルします」
- 安部信三君 「所用のため早退します」
- 淵脇美代子さん 「金木犀の香りにスマイルします」

合計 83,000 円

卓話

「今、精進、努力している私」

東島礼美さん



言葉には魂が宿ると言われています。「言霊(ことだま)」、言葉に魂が宿ってそれが現実になって行く、という意味です。言葉を選んで使うよう、失言しないように、と気を付けております。

“ありがとう” 感謝を表す言葉で素晴らしい言葉です。水道の水をコップに入れて、ありがとうと言って飲むと、とてもまろやかでおいしく、体に良い水になってくれると聞いたことがあります。私は科学者でも医学者でもありませんので、真偽はわかりませんが、自分の心に置き換えてみると、“ありがとう” という言葉は言われた人も幸せな心になりますが、言った本人も幸せな心になれます。水にありがとうと心をこめて言うと、それが言霊として戻ってきて、おいしい水になるのではないかと私は解釈しました。

私のお寺は鎌倉・建長寺派の末寺です。建長寺で修業をし、資格を得て、住職をしながらも研修に参加します。大得寺の僧堂で10年修行をされ、キリスト教にうつり、禅宗よりやさしい形で皆さんを導かれている野口先生が、「あなた方は禅僧なので、成りきって“ありがとう” と見本を見せて、“ありがとう” と言ってみなさい。恥ずかしいのは修行が足りないのだ」と言われました。私たちは修行の中で成りきるという修行をします。成りきるとは、導師様に言われたことを忠実に守って、それに成りきって行く事です。自分が“ありがとう” に成りきる事、朝一番に言うのが効果的であると言われました。なかなか言えませんが、本当に良いことだと思います。私のお寺では法要の時に感謝の気持ちを込め、腹式呼吸を使って成りきってお経を読んで頂きます。はずかしい、間違えたらどうしよう、等々、なかなか読んでくれません。何のために来ているのかを考えると、功德になるのだとお話しさせて頂いております。

ありがとうという気持ちでの成りきりだと思います。

私のお寺は臨済宗ですが、12月に臘八大接心と言って、1週間座禅を行います。お釈迦様の悟りを1週間みっちり体験（自分がお釈迦さまに成りきること）します。悟りには個人差がありますが、お釈迦さまに成りきる様に心がけていくようにしています。臨済宗は御釈迦様が仏様ですが、浄土宗は阿弥陀仏です。南無阿弥陀仏と心から唱えると彼岸(むこう)から迎えに来てくれると言われていました。

今、私は無宗教です、と言われる方がいらっしゃいます。その方も成りきるということが出来ればそれはそれで良いと思います。しかし、どのようにするか方向が決められるかが問題です。ありがとうという気持ちになって成りきって生活することです。私たちは食べ物で生かされています。生ある物を食しています。食べ物の命を頂いて、その命を奪ってしまったけど、それぞれそれを生かして私たちがするべき事があります。一生懸命やって行かなければ、ならないと思います。

私たちは食事を頂くときに“五観の偈”を毎回唱えています。

一つには功の多少を計り 彼の来処を量る。

(一つ、私は、この食事を作ってくださった人々に感謝しながら頂きます)

二つには己が徳行の全闕を 忖って供に応ず。

(二つ、私は、この食事を頂くために恥ずかしくない行いを致します)

三つには心を防ぎ 過貧等を離るゝを宗とす。

(三つ、私は、この食事をみやみに欲しがったり、むさぼり食べる事がないように頂きます)

四つには正に良薬を事とするは 形枯を療ぜんがためなり。

(四つ、私の体と心に必要なだけ頂きます)

五つには道業を成ぜんがために 將に此の食を受くべし。

(五つ、私は、勉強や仕事を立派に成し遂げるために頂きます)

これを唱えて、合掌し、「いただきます」と言い、むさぼりの心を離れて最小限だけ頂きます。そして「ありがとうございました」と合掌します。修行して人格形成をするためと言われています。これは、ロータリーの四つのテストそのものだと思います。私は四つのテストを自分自身に問いかけながら毎日精進して行きます。これが正に四つのテストだと思います。

今、この時、何をすべきか。それがすべてだと思います。秦野名水RCに入会させて頂いたのも大変ありがたいと思っております。先代が元気でいた時に入会させて頂いた、

その縁で私も入会させて頂きました。先代は欲がなく、布教に力を入れていて、私が引き継いだ時には財産はほとんどありませんでした。でもロータリーの方々、お寺の関係の方々、その他にもたくさんの方々とのご縁がありました。それが一番の財産と思い、大事にしていきたいと思っています。先代が7年前に亡くなりました。体調を崩して3カ月で逝ってしまいました。晴天の霹靂と言いますか、どうしたらいいのか？子供は当時10歳、母と妹の家族でした。成りきってやらないとダメだと考え、亡くなって1カ月後に3年半修行に出ました。皆様から見たら、子供と離され、美しいものも断ち切ってでしたので、かわいそうと思われたのではないのでしょうか。でも、私はただ、すべきことをやってきて、今があります。とても幸せに過ごさせて頂いています。

修行に出ますと“心頭3年、白歯をみせず”と言い、笑わない、しゃべらない、ひたすら「はい」という事。なんでも言われたら“はい”といって、すぐに行動する。何も考えず、すぐに行動して3年過ぎた時、はい、はい、と言っている自分、成りきった私がいました。何もしゃべらず、自分の内側に向かって自分を見つめる、そして、外のものにも気がつきます。自分の中に入って外のものにも気がついた時が“一体”である。これは、経験した人にはわかることです。

作務をする(三昧)。掃除し、座禅をし、お経を読んで過ごさないという事ですが、今、ドキドキしてしまっているのは、三昧に入りきれていないので、修行が足りないのではと思っています。

幸せ感をもって取り組むならば、全ての事が幸せのうちにできます。私は幸せです。“言霊”のお話をさせて頂きましたが、「そうでありたい」という言葉を発することにより実現できるように実践している私です。

